

資料1

八尾市立病院の業務状況(令和3年度)

令和4年8月9日

1. 令和3年度の業務状況

(1) 概況

令和3年度は緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が長期間発出され、新型コロナウイルス変異株が猛威をふるう厳しい状況の中、大阪府の要請に基づいて、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるとともに、市保健所や地域の医療機関と連携しながら、検査や診断、治療を行うなど、公立病院として最優先で新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。また「八尾市立病院経営計画(Ver.IV)」の初年度として、これまでの経営計画での「公立病院としての役割」「医療の質の向上」「健全経営の確保」の視点で取り組みを継続し、医療従事者の確保に注力しながら、医療機能の向上と健全経営の維持に努め、令和3年度は約9億9,700万円の純利益を計上した。

(2) 経営状況

令和3年度の年間延入院患者数は96,370人、病床利用率は69.5%となり、患者数は前年度から7,813人減少し、病床利用率は前年度を5.6ポイント下回った。また、年間延外来患者数は178,968人となり、前年度から4,585人増加した。

医業収益では、入院については、患者1人1日当たりの診療収入が増加したものの、新型コロナウイルス感染患者の病床を確保したほか、不急な手術を控えざるを得ないなどの状況により、患者数が減少し入院収益は前年度を下回った。外来については、患者1人1日当たりの診療収入、患者数がともに増加し、外来収益が前年度を上回り、医業収益は対前年度で約6,400万円増加した。

医業費用では、職員数の増加などに伴い給与費や、医療機器整備などに伴う減価償却費が増加したが、材料費や経費などが減少するなど、医業費用は対前年度で約600万円減少し、病院事業費用では対前年度で約200万円の減少となり、その結果当年度純利益は約9億9,700万円となった。

主な経営指標については、経常収支比率が106.1%、医業収支比率が87.1%となり、医業収益が増加し、医業費用が減少したことで、医業収支比率が前年度より上昇したとともに、一般会計からの繰入金や新型コロナウイルス感染症に係る補助金が増加したことで、経常収支比率は7.2ポイント上昇した。また、医業収益に対する職員給与費の割合は、57.3%と前年度と同じ割合となったほか、医業収益に対する材料費の割合は、材料費が減少し医業収益が増加したことで、前年度から0.1ポイント良化した。

経営状況については以上であるが、令和3年度決算では、これまでから健全経営を計る指標として重視してきた資金剰余額(流動資産-流動負債)は、新型コロナウイルス感染症に係る補助金の活用等で対前年度から約14億4,300万円増加し、約51億1,300万円となった。この資金剰余額の状況は、今後の新型コロナウイルス感染症などの影響により収支が悪化したとしても、病院運営上、直ちに問題が生じる水準ではなく、現時点では健全経営を維持しているものと総括している。

今後も、市民の生命と健康を守るため、通常診療と感染症対策医療との両立を図っていかなければならないが、通常診療は感染状況により大きく影響を受けることは、令和3年度決算において、入院患者数の減少や、それに伴う医業収益の減少に顕著に表れている。一方、感

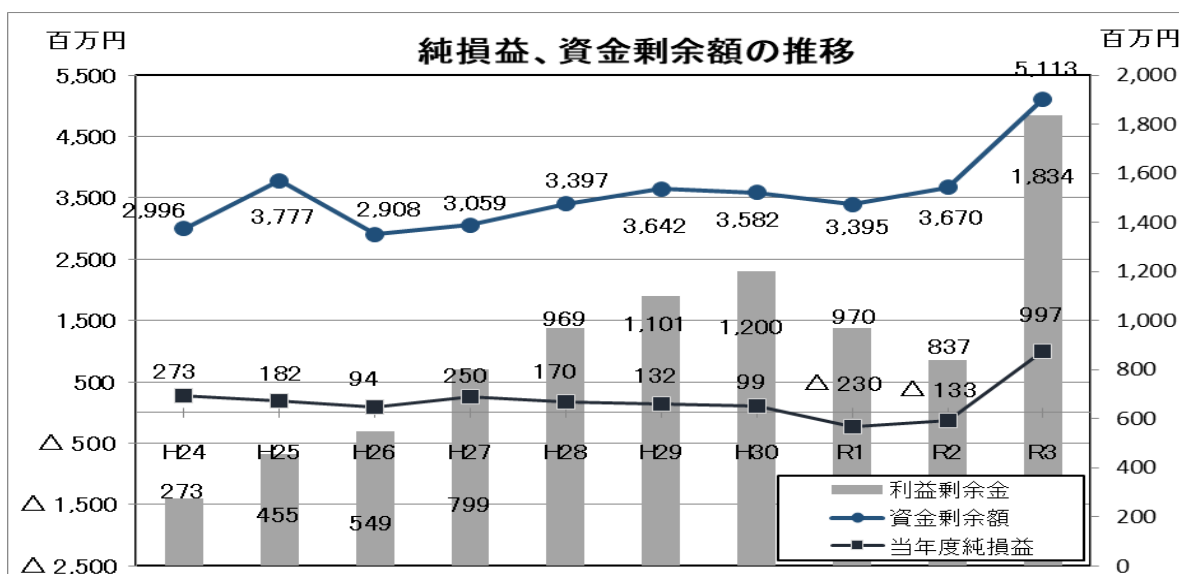
感染症対策医療は政策として行われるものであり、その実現に必要な経費の補填は、税の投入（補助金）によってまかなわれている。よって、感染症対策医療の取り組みに注力すればするほど、医業外収益に計上される補助金等の額は増大することから、新型コロナウイルス感染症の拡大以前の決算と比べて、病院の資金の源泉となる収益の構造は大きく変化することとなったが、当院としては当面の間は新型コロナウイルス感染症への対応を最優先で進めていくこととしている。その中で、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類感染症相当から5類感染症相当になれば、大阪府の病床確保計画による感染症対応病床の確保は解除されるが、当院としては公立病院として総合的に判断し、アフターコロナに向けた動きも取りつつ、新型コロナウイルス感染症への対応についても、地域住民の安心を確保し、生命と健康を守るための取り組みを進めていく。

今後も、新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は刻々と変化していくことが見込まれるが、当院としては、通常診療との両立を図りつつ、全病院スタッフが一丸となって、安定した医療提供体制の維持に努めていきたい。また、経営計画の取り組みを進めつつ、収支にも留意し、一定水準の資金を確保しながら、持続可能な病院運営に努めていきたい。

(3) 経営計画との比較

「八尾市立病院経営計画(Ver.IV)」との比較では、年間延入院患者数は計画を 14,590 人、病床利用率は計画を 10.5 ポイント下回り、年間延外来患者数では計画を 2,532 人下回った。また、患者1人1日当たりの診療収入は、入院では計画を 5,516 円上回り、外来は 1,064 円下回った。なお、当年度純損益は計画より約 23 億 5,100 万円、資金剰余額は計画より 32 億 3,300 万円上回った。

主な経営指標については、医業収支比率は医業収益の減少が医業費用の減少を上回ったため計画に 1.5 ポイント届かなかったものの、経常収支比率は経常収益の増加により 14.6 ポイント上回った。



※利益剰余金は減資により累積欠損金を解消した平成 24 年度以降を表示

2. 新型コロナウイルス感染症にかかる取り組みについて

(1) 当院における新型コロナウイルス感染症対応について

当院としては、公立病院として、新型コロナウイルス感染症に関しては、毒性・感染力・社会的影響等を総合的に判断し、院内感染が発生しないように最大限の対策を講じながら対応していくことを院内の危機管理対策委員会で決定し、病院スタッフが一丸となって取り組んだ。

●危機管理対策委員会

当院においては、令和2年1月30日の第1回危機管理対策委員会の開催後、同委員会をほぼ毎週のように実施(令和4年6月末までに148回)しており、新型コロナウイルス感染症にかかる様々な対応策を日々検討している。

●検査・診察体制の整備

(令和2年度までの経過)

- ・令和2年2月6日 「帰国者・接触者外来」の設置
- ・令和2年3月16日 PFI事業の協力企業への検査委託の開始
- ・令和2年5月8日 「紹介救急外来」の設置
- ・令和2年10月9日 院内PCR検査の整備
- ・令和2年12月1日 「八尾市立病院特設診療・検査センター」の設置
- ・令和2年12月4日 院内での抗原(定量)検査

(令和3年度)

- ・令和3年8月30日 新型コロナウイルス感染症外来診療病院として対応を開始
保健所が受診必要と判断した入院を要しない自宅療養者が対象
- ・令和3年9月1日 抗体カクテル外来診療病院として登録
保健所から診察依頼のある自宅療養の陽性患者のうち、
当院で治療が必要と判断した患者に治療を実施
- ・令和3年10月4日 外来での抗体療法を開始
※保健所から依頼の患者、地域の医療機関から紹介された患者、
大阪府の案内センターから当院を紹介された患者が対象
新型コロナ外来抗体療法バックアップ病院として登録
地域の医療機関での抗体カクテル療法にかかる体調不良時等の
バックアップとしての受け入れを開始

●感染患者の入院受け入れ <病床確保の主な経過>

(令和2年度までの経過)

- ・令和2年2月6日 「帰国者・接触者外来」の設置に合わせ、陰圧室1床確保
- ・令和2年3月9日 市内陽性患者の発生に伴い、病床確保数を5床に拡大
- ・令和2年3月26日 病床確保を10床に拡大
- ・令和2年4月13日 1病棟(50床)を活用、感染患者等23人対応に拡大
※上記以降は、感染状況に合わせて、10~23人の範囲で確保病床を変更対応
- ・令和2年12月7日 2病棟(100床)を活用、感染患者等45人対応に拡大
※上記以降は、感染状況に合わせて、23~45人の範囲で確保病床を変更対応

(令和3年度)

- ・令和3年4月26日 2病棟(100床)及びICU(6床)活用、感染患者等45人対応に拡大
※重症患者受入病院の病床が不足し、変異株(アルファ株)で重症化した患

者を中等症患者受入病院でそのまま継続して治療するよう要請があり、当院としてはICU病床で対応せざるを得なくなった

※上記以降は、感染状況に合わせて、23～45人の範囲で確保病床を変更対応

- ・令和3年 9月13日 2病棟（100床）を活用、感染患者等50人対応に拡大

※上記の病棟内で小児3床、妊産婦2床を新たに確保

※上記以降は感染状況に合わせて、5～45人の範囲で確保病床を変更対応

- ・令和4年 2月 3日 2病棟（100床）を活用、感染患者等52人対応に拡大

※変異株（オミクロン株）への対応のため要請により2床追加

（注）当院は感染症指定医療機関ではないため、感染リスクを避けるために、感染対策管理室の主導のもとレッドゾーンを明確にしたゾーニングを行い、感染対策を万全にした上で、可能な限りの病床を確保した。

●新型コロナワクチン接種

- ・令和3年 3月10日 院内職員への優先接種を開始

- ・令和3年 4月21日 地域の医療従事者向けの優先接種を開始

- ・令和3年 6月26日 市の会場の一つとして2階外来スペースを活用して集団接種を開始

※8月1日までの土・日曜日に1日900枠で実施

※ワクチン供給量制限後：9月～11月までは毎週日曜日のみ実施

- ・令和3年 7月 5日 医療機関の一つとして2階健診センターを活用して個別接種を開始

※平日（金曜日を除く）に1日約100枠で実施

- ・令和3年 8月25日 妊婦及びその同居家族・パートナーの優先接種を開始

- ・令和3年 9月19日 受験生（中学3年生、高校3年生）の優先接種を開始

- ・令和3年12月13日 院内職員への3回目接種を開始

- ・令和4年 1月11日 一般向けとして個別接種で3回目接種を開始

- ・令和4年 2月 7日 ワクチンの選択可能（ファイザー：月・火曜日、モデルナ：水・木曜日）

- ・令和4年 3月23日 小児（5歳～11歳）へのワクチン接種を実施

（2）新型コロナウイルス感染症にかかる対応実績 ※令和3年度末現在

- ・感染患者入院受け入れ数（疑似症を含む）

令和元年度 延べ17人 令和2年度 延べ4,340人 令和3年度 延べ5,399人

合計 延べ 9,756人

- ・検査件数

令和元年度 延べ71件 令和2年度 延べ5,155件 令和3年度 延べ12,160件

合計 延べ17,386件

- ・ワクチン接種数

令和2年度 延べ805人 令和3年度 延べ32,179人

合計 延べ32,984人

- ・抗体治療件数（抗体カクテル療法を含む）

令和3年度 延べ148人

3. 八尾市立病院経営計画の達成状況

項目 \ 年度	令和2年度 決算 (a)	令和3年度 経営計画 (b)	令和3年度 決算見込 (c)	R3見込 -R2決算 (c)-(a)	R3見込 -R3計画 (c)-(b)	計画に対す る達成率(%) ※4
年間延入院患者数(人)	104,183	110,960	96,370	△ 7,813	△ 14,590	86.9
(病床利用率)(%)	(75.1)	(80.0)	(69.5)	(△5.6)	(△10.5)	(86.9)
年間延外来患者数(人)	174,383	181,500	178,968	4,585	△ 2,532	98.6
入院患者1人1日当たり診療収入※1 (入院収益÷年間延入院患者数)(円)	73,688	73,312	78,828	5,140	5,516	107.5
外来患者1人1日当たり診療収入※1 (外来収益÷年間延外来患者数)(円)	22,619	23,713	22,649	30	△ 1,064	95.5
当年度純損益)※1 (病院事業収益-病院事業費用) (百万円)	△ 133	△ 1,354	997	1,130	2,351	173.6
資金剰余額(百万円)	3,670	1,880	5,113	1,443	3,233	272.0
経常収支比率 (経常収益÷経常費用×100)(%)※2	98.9	91.5	106.1	7.2	14.6	116.0
経常収益に対する繰入金の割合(%)	6.7	7.5	6.8	0.1	△ 0.7	110.3
医業収支比率 (医業収益÷医業費用×100)(%)	86.7	88.6	87.1	0.4	△ 1.5	98.3
医業収益に対する職員給与費の割合 (%) ※3	57.3	52.1	57.3	0.0	5.2	90.9
医業収益に対する材料費の割合(%)	27.3	28.7	27.2	△ 0.1	△ 1.5	105.5

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 令和2年度より会計年度任用職員制度創設のため、地方公営企業会計による職員給与費の計算基準が変更された。なお、令和3年度経営計画値は変更前の計算基準(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率である。

※4 計画に対する達成率(%)の計算式について、網掛けの項目は(b)÷(c)×100、その他の項目は(c)÷(b)×100。

4. 令和3年度の収支状況

項目		年度		(税 抜)		(百万円)	
		令和2年度 決算 (a)	令和3年度 経営計画 (b)	令和3年度 決算見込 (c)	R3見込 -R2決算 (c)-(a)	R3見込 -R3計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
収 益 的 収 支	病院事業収益	14,878	14,375	16,006	1,128	1,631	111.3
	經常収益	14,833	14,368	15,895	1,062	1,527	110.6
	医業収益	12,198	13,047	12,262	64	△ 785	94.0
	入院収益	7,677	8,135	7,597	△ 80	△ 538	93.4
	外来収益	3,944	4,304	4,053	109	△ 251	94.2
	その他医業収益	577	608	612	35	4	100.7
	医業外収益	2,635	1,321	3,633	998	2,312	275.0
	特別利益	45	7	111	66	104	1,585.7
	病院事業費用	15,011	15,729	15,009	△ 2	△ 720	104.8
	經常費用	14,993	15,706	14,988	△ 5	△ 718	104.8
	医業費用	14,076	14,731	14,070	△ 6	△ 661	104.7
	給与費	7,021	7,259	7,058	37	△ 201	102.8
	材料費	3,333	3,748	3,331	△ 2	△ 417	112.5
	経費	2,666	2,658	2,653	△ 13	△ 5	100.2
	減価償却費	949	1,002	975	26	△ 27	102.8
	その他	107	64	53	△ 54	△ 11	120.8
	医業外費用	917	975	918	1	△ 57	106.2
	特別損失	18	23	21	3	△ 2	109.5
	經常損益	△ 160	△ 1,338	907	1,067	2,245	167.8
純 損 益	△ 133	△ 1,354	997	1,130	2,351	173.6	

項目		年度		(税 抜)		(百万円)	
		令和2年度 決算 (a)	令和3年度 経営計画 (b)	令和3年度 決算見込 (c)	R3見込 -R2決算 (c)-(a)	R3見込 -R3計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
資 本 的 収 支	資本的収入	1,430	1,702	1,771	341	69	104.1
	企業債	549	893	769	220	△ 124	86.1
	出資金	100	100	100	0	0	100.0
	負担金	736	709	709	△ 27	0	100.0
	補助金	45	0	191	146	191	皆 増
	固定資産売却代金	0	0	2	2	2	皆 増
	資本的支出	2,142	2,360	2,229	87	△ 131	105.9
	建設改良費	776	1,049	918	142	△ 131	114.3
	企業債償還金	1,366	1,311	1,311	△ 55	0	100.0
	差引合計	△ 712	△ 658	△ 458	254	200	143.7

項目		年度		(税 抜)		(百万円)	
		令和2年度 決算 (a)	令和3年度 経営計画 (b)	令和3年度 決算見込 (c)	R3見込 -R2決算 (c)-(a)	R3見込 -R3計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
利益剰余金	※2	837	△ 939	1,834	997	2,773	295.3
資金剰余額	※3	3,670	1,880	5,113	1,443	3,233	272.0
企業債残高(3月末現在)		12,374	12,303	11,832	△ 542	△ 471	104.0

※1 計画に対する達成率(%)の計算式について、網掛けの項目は (b)÷(c)×100、その他の項目は (c)÷(b)×100。

※2 令和3年度の利益剰余金=令和2年度利益剰余金(837)+当年度純利益(997)

※3 令和3年度の資金剰余額=流動資産(9,310)-流動負債(4,197)

5. 主な収益・費用の増減

項 目			(税抜)	(千円)
	令和3年度見込	令和2年度	増減額	増減率(%)
病院事業収益	16,005,960	14,877,535	1,128,425	7.6
医業収益	12,261,506	12,198,050	63,456	0.5
入院収益	7,596,666	7,677,082	△ 80,416	△ 1.0
外来収益	4,053,443	3,944,295	109,148	2.8
その他医業収益	611,397	576,673	34,724	6.0
一般会計負担金	277,860	269,790	8,070	3.0
その他	333,537	306,883	26,654	8.7
医業外収益	3,633,449	2,634,506	998,943	37.9
受取利息及び配当金	3,123	3,353	△ 230	△ 6.9
他会計補助金	118,111	111,079	7,032	6.3
他会計負担金	678,748	607,478	71,270	11.7
補助金	2,218,143	1,323,805	894,338	67.6
長期前受金戻入	435,442	439,210	△ 3,768	△ 0.9
その他医業外収益	179,882	149,581	30,301	20.3
特別利益	111,005	44,979	66,026	146.8

項 目			(税抜)	(千円)
	令和3年度見込	令和2年度	増減額	増減率(%)
病院事業費用	15,009,039	15,010,627	△ 1,588	0.0
医業費用	14,069,996	14,075,216	△ 5,220	0.0
給与費用	7,058,067	7,020,733	37,334	0.5
給料	2,859,582	2,707,636	151,946	5.6
手当	2,354,651	2,482,599	△ 127,948	△ 5.2
報酬	234	215	19	8.8
法定福利費	921,850	861,926	59,924	7.0
退職給付費	491,492	529,480	△ 37,988	△ 7.2
賞与等引当金繰入額	430,258	438,877	△ 8,619	△ 2.0
材料費	3,330,555	3,333,197	△ 2,642	△ 0.1
薬品費	2,139,139	2,110,448	28,691	1.4
投薬薬品	175,425	167,414	8,011	4.8
注射薬品	1,767,709	1,743,238	24,471	1.4
その他薬品	196,005	199,796	△ 3,791	△ 1.9
診療材料費	1,191,416	1,222,749	△ 31,333	△ 2.6
経費	2,653,243	2,666,188	△ 12,945	△ 0.5
光熱水費	242,397	244,481	△ 2,084	△ 0.9
委託料	2,212,515	2,251,439	△ 38,924	△ 1.7
その他経費	198,331	170,268	28,063	16.5
減価償却費	974,897	948,816	26,081	2.7
資産減耗費	26,843	81,717	△ 54,874	△ 67.2
研究研修費	26,391	24,565	1,826	7.4
医業外費用	918,053	917,117	936	0.1
支払利息	180,327	195,725	△ 15,398	△ 7.9
長期前払消費税償却	52,666	54,221	△ 1,555	△ 2.9
雑支出	685,060	667,171	17,889	2.7
特別損失	20,990	18,294	2,696	14.7

6. 主要な経営指標の推移

項目	年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度見込
年間延入院患者数(人)		124,731	127,264	124,247	104,183	96,370
(病床利用率)(%)		(89.9)	(91.8)	(89.3)	(75.1)	(69.5)
年間延外来患者数(人)		205,519	207,980	212,180	174,383	178,968
入院患者1人1日当たり診療収入 (入院収益÷年間延入院患者数) (円) ※1		67,437	67,450	68,740	73,688	78,828
外来患者1人1日当たり診療収入 (外来収益÷年間延外来患者数) (円) ※1		17,468	18,953	20,186	22,619	22,649
当年度純損益※1 (病院事業収益－病院事業費用) (百万円)		132	99	△ 230	△ 133	997
資金剰余額(百万円)		3,642	3,582	3,395	3,670	5,113
経常収支比率 (経常収益÷経常費用×100)(%) ※2		101.1	100.6	98.3	98.9	106.1
経常収益に対する繰入金の割合 (%)		6.1	5.7	5.9	6.7	6.8
医業収支比率 (医業収益÷医業費用×100)(%)		97.7	97.2	95.4	86.7	87.1
医業収益に対する職員給与費の割合 (%) ※3		46.1	47.1	46.2	57.3	57.3
医業収益に対する材料費の割合 (%)		25.9	26.6	26.3	27.3	27.2

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 令和2年度より、会計年度任用職員制度創設のため、地方公営企業会計による職員給与費の計算基準が変更された。

7. 収支の推移

(税抜) (百万円)

項目		年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度見込
収益的 収支	病院事業収益		13,873	14,449	14,808	14,878	16,006
	経常収益		13,867	14,405	14,765	14,833	15,895
	医業収益		12,640	13,155	13,476	12,198	12,262
	入院収益		8,412	8,584	8,541	7,677	7,597
	外来収益		3,590	3,942	4,283	3,944	4,053
	その他医業収益		638	629	652	577	612
	一般会計繰入金		265	257	275	270	278
	その他		373	372	377	307	334
	医業外収益		1,227	1,250	1,289	2,635	3,633
	一般会計繰入金		578	568	592	718	797
	その他		649	682	697	1,917	2,836
	特別利益		6	44	43	45	111
	病院事業費用		13,741	14,350	15,038	15,011	15,009
	経常費用		13,718	14,322	15,018	14,993	14,988
	医業費用		12,935	13,532	14,127	14,076	14,070
	給与費		6,239	6,535	6,642	7,021	7,058
	材料費		3,269	3,497	3,547	3,333	3,331
	経費		2,205	2,260	2,652	2,666	2,653
	うち委託料		1,855	1,895	2,201	2,251	2,213
	減価償却費		1,127	1,153	1,223	949	975
	その他		95	87	63	107	53
	医業外費用		783	790	891	917	918
	支払利息		241	226	211	196	180
その他		542	564	680	721	738	
特別損失		23	28	20	18	21	
経常損益		149	83	△ 253	△ 160	907	
純損益		132	99	△ 230	△ 133	997	
資本的 収支	資本的収入		1,150	1,026	1,536	1,430	1,771
	企業債		600	430	846	549	769
	出資金		0	0	0	100	100
	負担金		550	591	674	736	709
	補助金		0	5	16	45	191
	固定資産売却代金		0	0	0	0	2
	資本的支出		1,777	1,833	2,220	2,142	2,229
	建設改良費		778	754	976	776	918
企業債償還金		999	1,079	1,244	1,366	1,311	
利益剰余金 ※1		1,101	1,200	970	837	1,834	
資金剰余额 ※2		3,642	3,582	3,395	3,670	5,113	
企業債残高(3月末現在)		14,238	13,589	13,192	12,374	11,832	

※1 利益剰余金＝前年度利益剰余金＋当年度純損益

※2 資金剰余额＝年度末の流動資産－年度末の流動負債

8. 経営指標の増減、府下病院との比較

区 分		算 式	令和 3年度	令和 2年度	2年度 府下5市 平均
一般病床利用率(%)		年延入院患者数／年延病床数×100	69.5	75.1	70.4
1日平均患者数 (人)	入 院	年延入院患者数／年間日数	264	285	280
	外 来	年延外来患者数／診療日数	740	718	823
	計	入 院 + 外 来	1,004	1,003	1,102
外来入院患者比率 (%)		年延外来患者数／年延入院患者数×100	185.7	167.4	197.9
患者1人1日当たり 診療収入(円)	入 院	入院(外来)収益／年延入院(外来)患者数	78,828	73,688	66,412
	外 来		22,649	22,619	17,559
	計		42,312	41,719	34,014
患者1人1日当たり医療材料費(円)		医療材料費／年延入院外来患者数	12,096	11,966	9,480
薬 品 費 (投薬・注射薬)(円)		薬品費(試薬等除く)／年延入院外来患者数	7,057	6,859	5,304
そ の 他 医 療 材 料 費 (円)		その他医療材料費／年延入院外来患者数	5,039	5,107	4,176
医業収益に対する 割合(%)	職 員 給 与 費	職員給与費／医業収益×100	57.3	57.3	60.8
	医 療 材 料 費	医療材料費／医業収益×100	27.2	27.3	26.4
	経 費	経 費／医業収益×100	21.9	22.1	19.7
	委 託 料	委 託 料／医業収益×100	18.0	18.5	12.1
	減 価 償 却 費	減価償却費／医業収益×100	8.0	7.8	7.8
	企 業 債 利 息	企業債利息／医業収益×100	1.5	1.6	1.2

※地方公営企業決算報告の数値による。

※府下5市平均は、本市以外の病床300床以上の市立病院(豊中市、岸和田市、池田市、枚方市、箕面市)の数値の単純平均値。

9. 令和3年度の主な診療データ

(1) 入院

(1)-1 年間延患者数

診療科	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科	10,678人	9,525人	1,153人	112.1%
消化器内科	11,202人	11,543人	△ 341人	97.0%
循環器内科	9,361人	12,758人	△ 3,397人	73.4%
腫瘍内科	0人	4,267人	△ 4,267人	皆減
血液内科	7,442人	7,066人	376人	105.3%
外科	10,926人	18,705人	923人	104.9%
消化器外科	2,769人	-	-	-
呼吸器外科	5,933人	-	-	-
乳腺外科	2,709人	3,038人	△ 329人	89.2%
整形外科	7,752人	8,753人	△ 1,001人	88.6%
脳神経外科	1,263人	1,806人	△ 543人	69.9%
産婦人科	8,738人	8,740人	△ 2人	100.0%
小児科	5,158人	5,032人	126人	102.5%
耳鼻咽喉科	3,822人	4,097人	△ 275人	93.3%
形成外科	1,974人	2,025人	△ 51人	97.5%
泌尿器科	5,544人	5,683人	△ 139人	97.6%
放射線科	99人	82人	17人	120.7%
歯科口腔外科	1,000人	1,063人	△ 63人	94.1%
合 計	96,370人	104,183人	△ 7,813人	92.5%

(1)-2 診療科別 入院収益

診療科	令和3年度			令和2年度		
	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
内科	1,063,120千円	14.0%	99,562円	517,256千円	6.7%	54,305円
消化器内科	631,236千円	8.3%	56,350円	592,716千円	7.7%	51,349円
循環器内科	1,017,194千円	13.4%	108,663円	1,294,590千円	16.9%	101,473円
腫瘍内科	0千円	0.0%	0円	218,101千円	2.8%	51,113円
血液内科	351,755千円	4.7%	47,266円	356,721千円	4.7%	50,484円
外科	802,151千円	10.6%	73,417円	1,529,993千円	19.9%	81,796円
消化器外科	291,075千円	3.8%	105,119円	-	-	-
呼吸器外科	492,609千円	6.5%	83,029円	-	-	-
乳腺外科	222,498千円	2.9%	82,133円	268,667千円	3.5%	88,435円
整形外科	547,827千円	7.2%	70,669円	669,964千円	8.7%	76,541円
脳神経外科	117,977千円	1.6%	93,410円	141,144千円	1.8%	78,153円
産婦人科	739,699千円	9.7%	84,653円	728,625千円	9.5%	83,367円
小児科	358,710千円	4.7%	69,544円	349,545千円	4.6%	69,464円
耳鼻咽喉科	277,267千円	3.7%	72,545円	303,157千円	4.0%	73,995円
形成外科	219,911千円	2.9%	111,404円	228,575千円	3.0%	112,877円
泌尿器科	398,834千円	5.3%	71,940円	402,492千円	5.2%	70,824円
放射線科	5,759千円	0.1%	58,172円	4,875千円	0.1%	59,451円
歯科口腔外科	59,044千円	0.8%	59,044円	70,661千円	0.9%	66,473円
合 計	7,596,666千円	100.0%	78,828円	7,677,082千円	100.0%	73,688円

※患者1人1日当たり収入は入院収益を延患者数で除したものの。

(1)－3 診療行為別収入

行 為	令和3年度			令和2年度		
	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
投薬・注射収入	517,794千円	6.8%	5,373円	533,285千円	6.9%	5,119円
処置・手術収入	2,626,500千円	34.5%	27,254円	2,887,399千円	37.6%	27,715円
検査・放射線収入	483,519千円	6.4%	5,017円	519,220千円	6.8%	4,984円
入院料	3,530,008千円	46.4%	36,630円	3,234,670千円	42.1%	31,048円
その他	438,845千円	5.9%	4,554円	502,508千円	6.6%	4,823円
合計	7,596,666千円	100.0%	78,828円	7,677,082千円	100.0%	73,688円

(1)－4 病床利用率

	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度
病床利用率	69.5%	75.1%	△ 5.6%	92.5%

(1)－5 新入院患者数

	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度
新入院患者数	9,889人	9,907人	△18人	99.8%

(1)－6 退院患者数

	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度
退院患者数	9,923人	9,911人	12人	100.1%

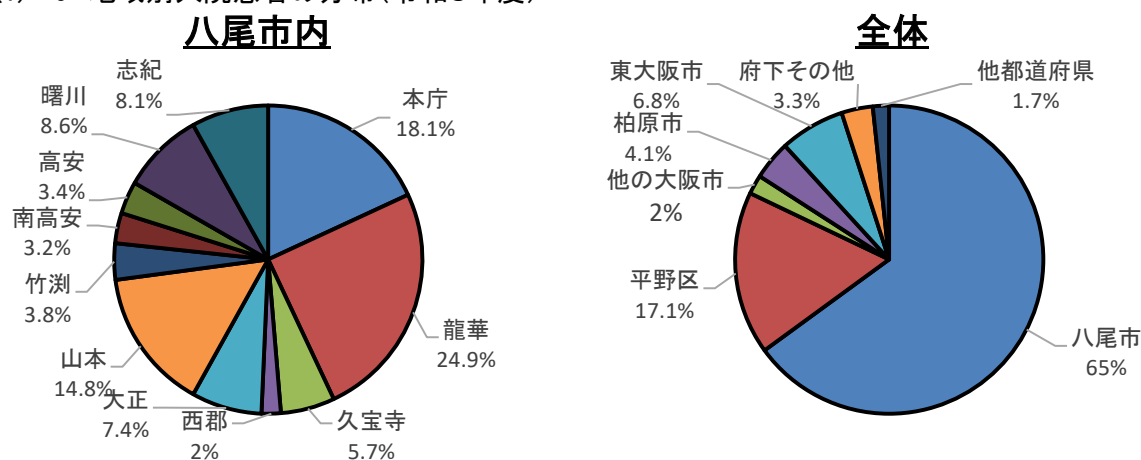
(1)－7 平均在院日数

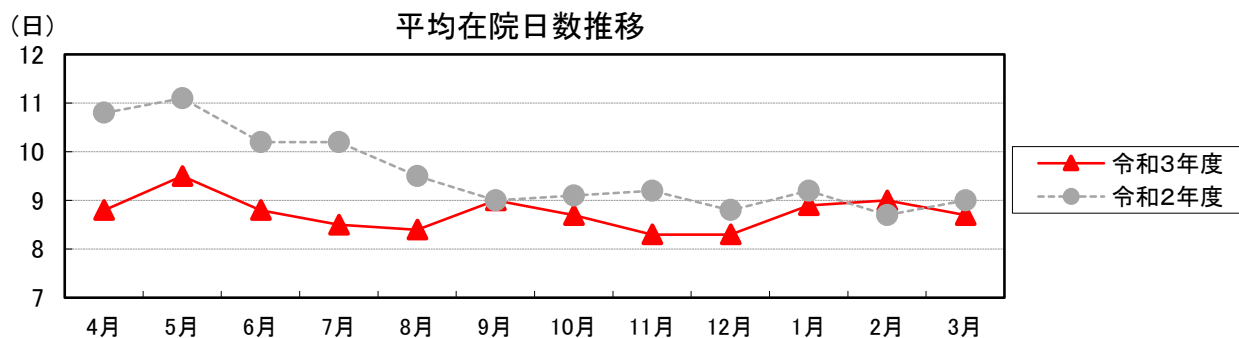
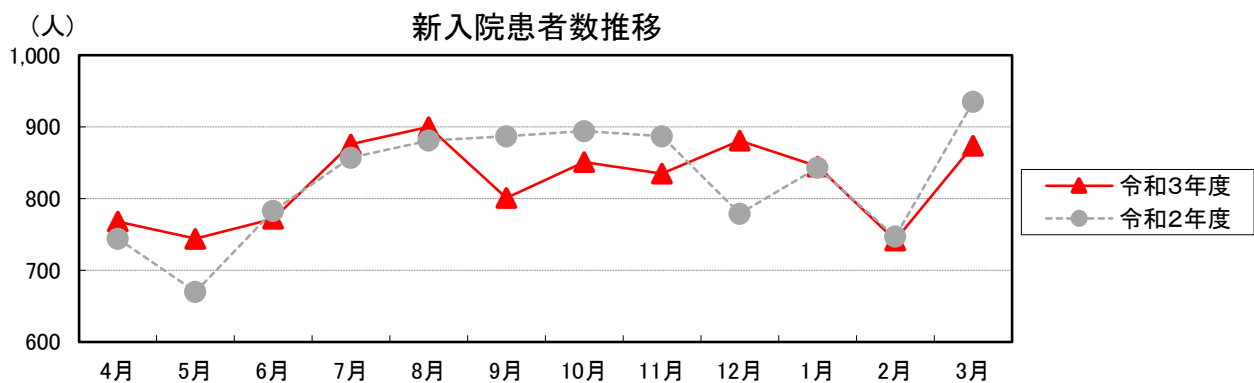
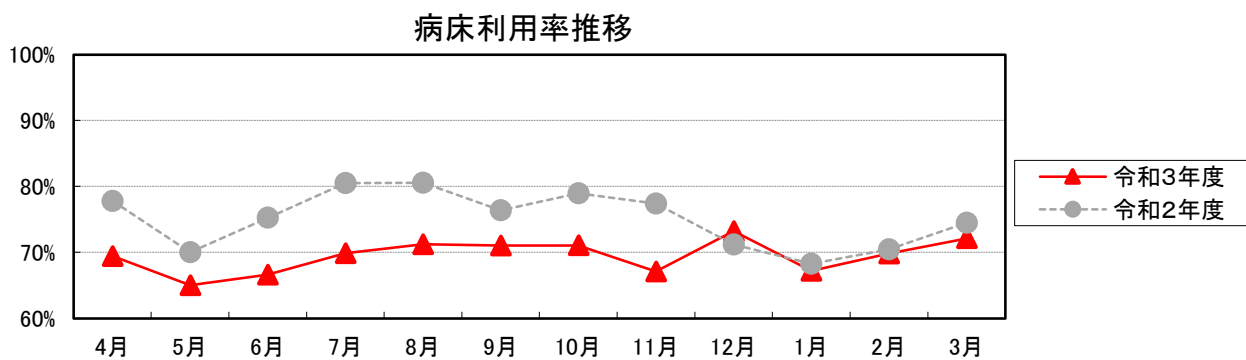
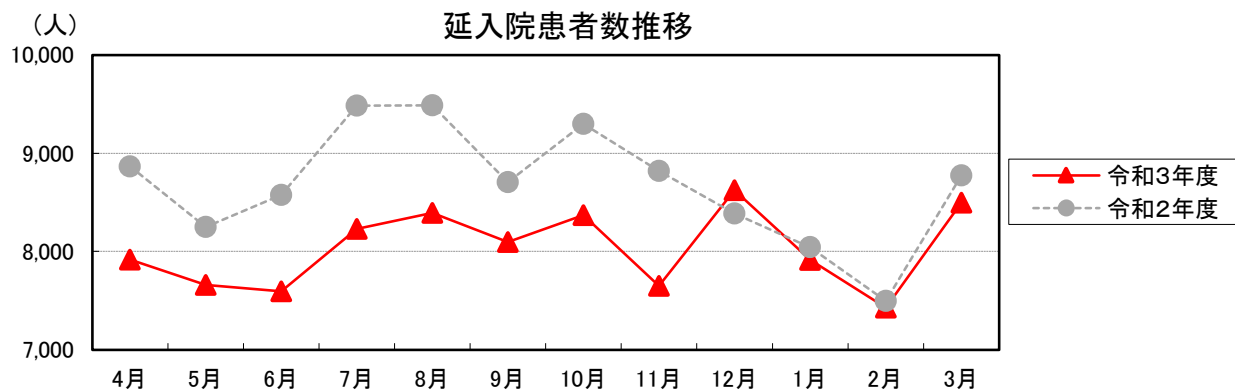
	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度
平均在院日数	8.7日	9.5日	△ 0.8日	91.6%

(1)－8 患者1人1日当たり診療収入

	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度
1人1日当たり診療収入	78,828円	73,688円	5,140円	107.0%

(1)－9 地域別入院患者の分布(令和3年度)





(2) 外来

(2)-1 年間延患者数

診療科	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科	13,554人	18,131人	△ 4,437人	75.5%
消化器内科	13,761人	12,278人	1,483人	112.1%
循環器内科	10,961人	7,339人	3,622人	149.4%
腫瘍内科	0人	1,512人	△ 1,512人	皆減
血液内科	4,255人	3,870人	385人	109.9%
精神科	140人	-	-	-
外科	7,924人	14,558人	680人	104.7%
消化器外科	3,872人	-	-	-
呼吸器外科	3,442人	-	-	-
乳腺外科	7,246人	7,099人	147人	102.1%
整形外科	9,273人	8,808人	465人	105.3%
脳神経外科	3,559人	3,823人	△ 264人	93.1%
産婦人科	17,920人	17,322人	598人	103.5%
小児科	17,072人	13,548人	3,524人	126.0%
眼科	713人	622人	91人	114.6%
耳鼻咽喉科	9,856人	10,949人	△ 1,093人	90.0%
形成外科	7,430人	7,821人	△ 391人	95.0%
皮膚科	1,146人	1,760人	△ 614人	65.1%
泌尿器科	14,176人	14,247人	△ 71人	99.5%
放射線科	9,004人	8,874人	130人	101.5%
リハビリテーション科	555人	819人	△ 264人	67.8%
麻酔科	1,207人	1,294人	△ 87人	93.3%
歯科口腔外科	7,661人	8,264人	△ 603人	92.7%
救急診療科	14,241人	11,445人	2,796人	124.4%
合計	178,968人	174,383人	4,585人	102.6%

※救急診療科については、救急外来で対応した患者を表記している。

(2)-2 診療科別 外来収益

診療科	令和3年度			令和2年度		
	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
内科	269,809千円	6.7%	19,906円	279,942千円	7.1%	15,440円
消化器内科	212,242千円	5.2%	15,423円	184,440千円	4.7%	15,022円
循環器内科	170,125千円	4.2%	15,521円	98,077千円	2.5%	13,364円
腫瘍内科	0千円	0.0%	0円	219,546千円	5.6%	145,202円
血液内科	301,899千円	7.4%	70,952円	246,435千円	6.2%	63,678円
精神科	568千円	0.1%	4,057円	-	-	-
外科	435,446千円	10.7%	54,953円	722,386千円	18.3%	49,621円
消化器外科	133,592千円	3.3%	34,502円	-	-	-
呼吸器外科	252,508千円	6.2%	73,361円	-	-	-
乳腺外科	501,118千円	12.3%	69,158円	529,052千円	13.4%	74,525円
整形外科	80,026千円	2.0%	8,630円	75,247千円	1.9%	8,543円
脳神経外科	66,929千円	1.7%	18,806円	51,140千円	1.3%	13,377円
産婦人科	139,993千円	3.4%	7,812円	125,589千円	3.2%	7,250円
小児科	451,743千円	11.1%	26,461円	365,015千円	9.3%	26,942円
眼科	2,896千円	0.1%	4,062円	3,287千円	0.1%	5,285円
耳鼻咽喉科	85,223千円	2.1%	8,647円	102,312千円	2.6%	9,344円
形成外科	59,267千円	1.5%	7,977円	58,955千円	1.5%	7,538円
皮膚科	2,924千円	0.1%	2,551円	5,863千円	0.1%	3,331円
泌尿器科	332,601千円	8.2%	23,462円	344,807千円	8.7%	24,202円
放射線科	234,092千円	5.8%	25,999円	232,895千円	5.9%	26,245円
リハビリテーション科	3,197千円	0.1%	5,760円	3,905千円	0.1%	4,768円
麻酔科	3,081千円	0.1%	2,553円	3,314千円	0.1%	2,561円
歯科口腔外科	69,710千円	1.7%	9,099円	78,856千円	2.0%	9,542円
救急診療科	244,454千円	6.0%	17,166円	213,232千円	5.4%	18,631円
合計	4,053,443千円	100.0%	22,649円	3,944,295千円	100.0%	22,619円

※患者1人1日当たり収入は外来収益を延患者数で除したものの。

(2)－3 診療行為別収入

行 為	令和3年度			令和2年度		
	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
初診・再診料	218,169千円	5.4%	1,219円	194,412千円	4.9%	1,115円
投薬・注射収入	1,771,097千円	43.7%	9,896円	1,751,290千円	44.4%	10,043円
処置・手術収入	110,325千円	2.7%	616円	108,504千円	2.7%	622円
検査・放射線収入	1,402,245千円	34.6%	7,835円	1,359,025千円	34.5%	7,793円
その他	551,607千円	13.6%	3,082円	531,064千円	13.5%	3,045円
合計	4,053,443千円	100.0%	22,648円	3,944,295千円	100.0%	22,618円

(2)－4 初診患者数

	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
初診患者数	26,288人	23,545人	2,743人	111.7%

(2)－5 再診患者数

	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
再診患者数	152,680人	150,838人	1,842人	101.2%

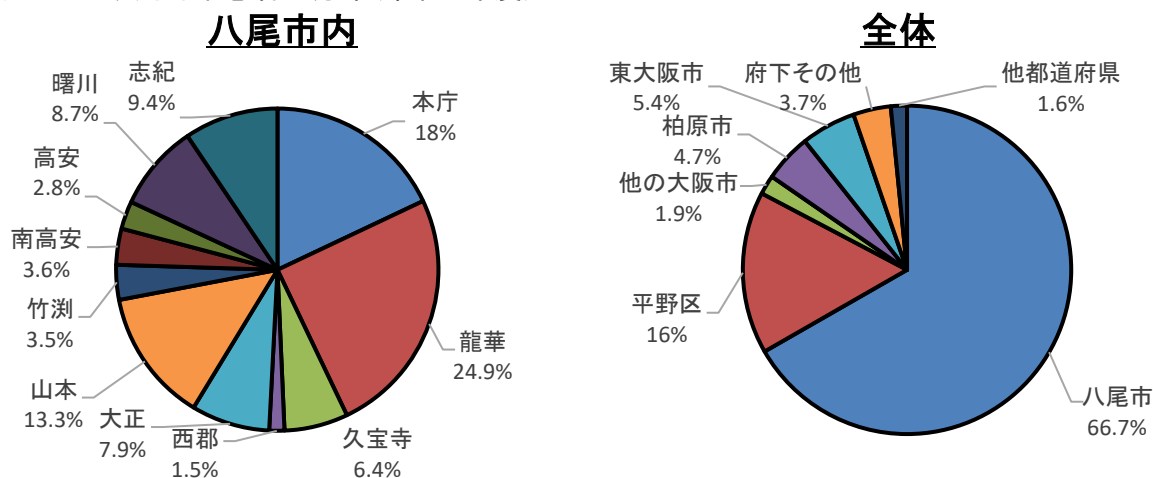
(2)－6 平均通院回数

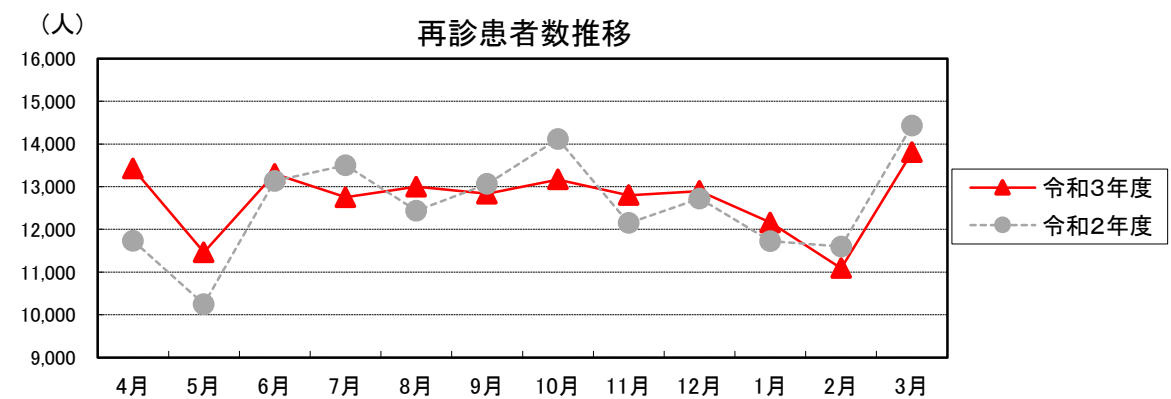
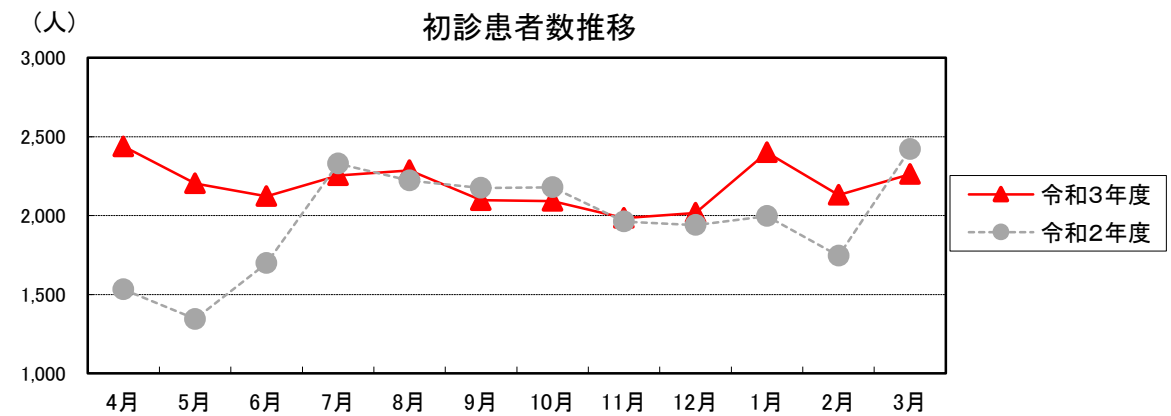
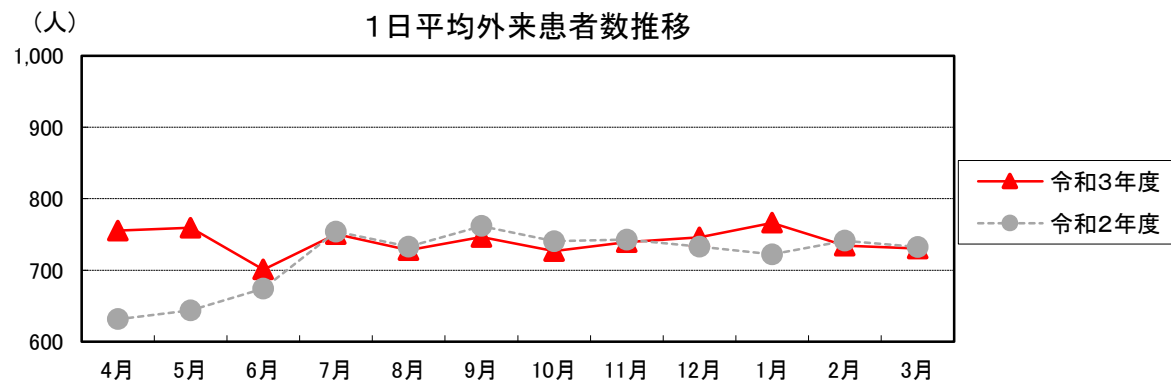
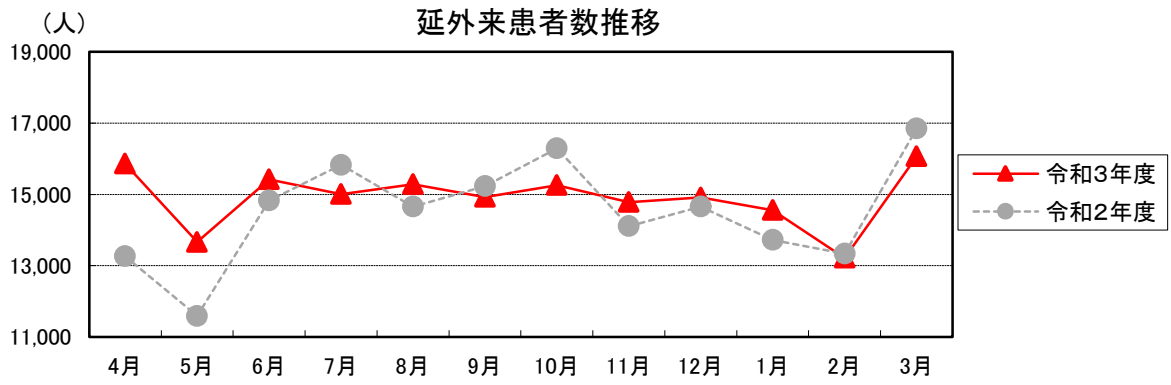
	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
平均通院回数	6.8回	7.4回	△ 0.6回	91.9%

(2)－7 患者1人1日当たり診療収入

	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
1人1日当たり診療収入	22,649円	22,619円	30円	100.1%

(2)－8 地域別外来患者の分布(令和3年度)





(3) 紹介率・逆紹介率

(3)－1 紹介率、逆紹介率

	①令和3年度	②令和2年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
初診紹介患者数	9,904人	9,884人	20人	100.2%
紹介率	51.7%	57.6%	△ 5.9%	89.8%
逆紹介率	86.4%	85.9%	0.5%	100.6%

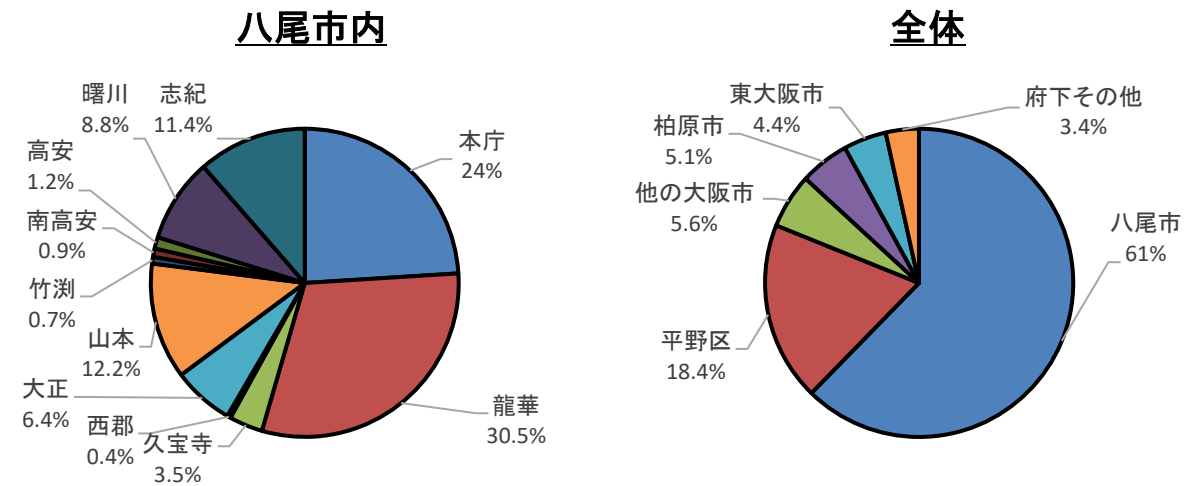
【紹介率算出式】

$$\frac{\text{紹介患者数(文書により紹介された患者の数)}}{\text{初診患者数(休日・夜間初診患者数と救急自動車搬送初診患者数を除く)}}$$

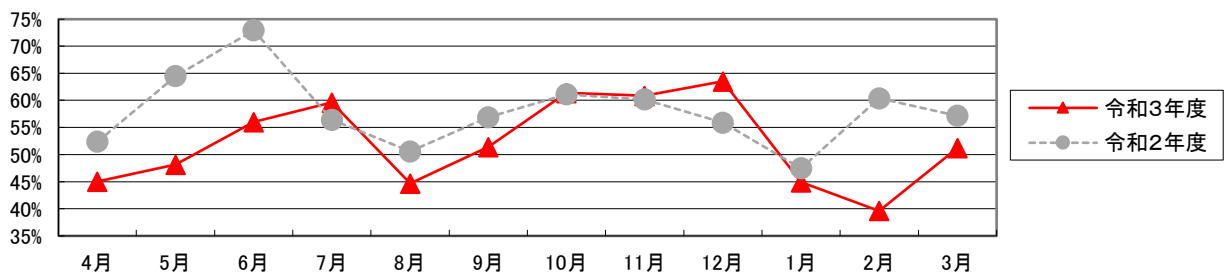
【逆紹介率算出式】

$$\frac{\text{逆紹介患者数(診療情報提供料を算定した患者数)}}{\text{初診患者数(休日・夜間初診患者数と救急自動車搬送初診患者数を除く)}}$$

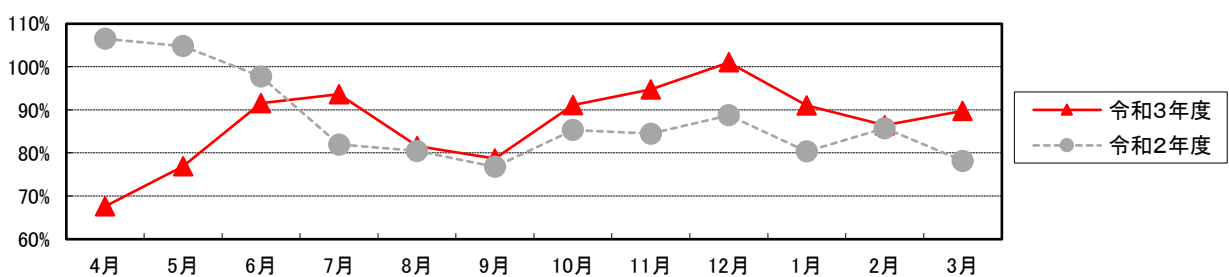
(3)－2 紹介元医療機関の分布(令和3年度)



紹介率推移



逆紹介率推移



10. 具体的取り組みに係る数値目標の達成状況

項目 \ 年度	令和2年度 決算 (a)	令和3年度 経営計画 (b)	令和3年度 決算見込 (c)	R3見込 -R2決算 (c)-(a)	R3見込 -R3計画 (c)-(b)	計画に 対する 達成率(%) (c)÷(b)× 100
初診紹介患者数(人)	9,884	11,300	9,904	20	△ 1,396	87.6
逆紹介(診療情報提供)件数(件)	14,733	14,500	16,548	1,815	2,048	114.1
紹介率(%)	57.6	50.0	51.7	△ 5.9	1.7	103.4
逆紹介率(%)	85.9	70.0	86.4	0.5	16.4	123.4
病診薬ネットワークシステム情報共有 件数(件)	3,586	3,700	4,293	707	593	116.0
救急搬送受入数(人)	3,727	3,600	3,258	△ 469	△ 342	90.5
救急からの入院数(人)	2,702	2,600	2,912	210	312	112.0
分娩取扱い件数(件)	730	800	658	△ 72	△ 142	82.3
がん患者数(人)	2,232	2,400	2,314	82	△ 86	96.4
がん手術件数(件)	1,131	1,200	1,088	△ 43	△ 112	90.7
放射線治療件数(件)	7,097	6,000	6,749	△ 348	749	112.5
外来化学療法件数(件)	5,318	5,400	5,173	△ 145	△ 227	95.8
がん相談件数(人)	3,369	3,400	3,631	262	231	106.8
手術件数(件)	4,278	4,300	4,202	△ 76	△ 98	97.7
全身麻酔手術件数(件)	2,901	3,000	2,772	△ 129	△ 228	92.4
鏡視下手術件数(件)	916	900	1,002	86	102	111.3
クリニカルパス適用率(%)	86.0	81.0	80.8	△ 5.2	△ 0.2	99.8
新入院患者数(人)	9,907	10,000	9,889	△ 18	△ 111	98.9
入退院支援数(人)	3,925	3,000	4,876	951	1,876	162.5
平均在院日数(日)	9.5	9.6	8.7	△ 0.8	△ 0.9	110.3
後発医薬品指数(%)	93.9	90.0	94.9	1.0	4.9	105.4